

月	単元・題材	目標・学習内容	評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	1章 式の計算 1 式の計算	1 多項式の計算 2 単項式の乗法と除法	・簡単な整式の加法や減法及び単項式の乗法と除法の計算をしたり、目的に応じて、簡単な式の変形をしたりすることができる。 ・文字を用いた式で数量及び、数量の関係を捉え説明できることを理解している。	・具体的な数の計算や既に学習した計算方法と関連付けて、整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算方法を考察し表現することができる。 ・文字を用いた式を具体的な場面で活用することができる。	・文字を用いた式のよさを実感して粘り強く考え、文字を用いた式について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、文字を用いた式を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。
5	2 文字式の利用	1 式による説明 2 等式の変形			
6	2章 連立方程式 1 連立方程式とその解き方	1 連立方程式とその解 2 連立方程式の解き方 3 いろいろな連立方程式 3 根号をふくむ式のいろいろな計算	・連立2元1次方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解し、解くことができる。	・1元1次方程式と関連付けて、連立2元1次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 ・連立2元1次方程式を具体的な場面で活用することができる。	・連立2元1次方程式のよさを実感して粘り強く考え、連立2元1次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、連立2元1次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。
7	2 連立方程式の利用	1 連立方程式の利用			
9	3章 1次関数 1 1次関数 2 1次関数の性質と調べ方 3 2元1次方程式と1次関数 4 1次関数の利用	1 1次関数 1 1次関数の値の変化 2 1次関数のグラフ 3 1次関数の式を求める方法 1 2元1次方程式のグラフ 2 連理方程式とグラフ 1 1次関数とみなすこと 2 1次関数のグラフの利用 3 1次関数と図形	・1次関数について理解している。 ・事象の中には1次関数として捉えられるものがあることを知っている。 ・2元1次方程式を関数を表す式とみることができる。	・1次関数として捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。 ・1次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。	・1次関数のよさを実感して粘り強く考え、1次関数について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、1次関数を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。
10	4章 平行と合同 1 説明のしくみ 2 平行線と角 3 合同な図形	1 多角形の角の和の説明 1 平行線と角 1 合同な図形の性質と表し方 2 三角形の合同条件 3 証明のすすめ方	・平行線や角の性質を理解している。 ・多角形の角についての性質を見いだせることを知っている。	・基本的な平面図形の性質を見だし、平行線や角の性質を基にしてそれらを確認説明することができる。	・平面図形の性質のよさを実感して粘り強く考え、平面図形の性質について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。
11	5章 三角形と四角形 1 三角形	1 二等辺三角形の性質 2 二等辺三角形になるための条件 3 直角三角形の合同 1 平行四辺形の性質 2 平行四辺形になるための条件 3 特別な平行四辺形 4 平行線と面積	・平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解している。 ・証明の必要性和意味及び方法について理解している。	・三角形の合同条件などを基にして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめたり、証明を読んで新たな性質を見いだしたりすることができる。 ・三角形や平行四辺形の基本的な性質などを具体的な場面で活用することができる。	・証明のよさを実感して粘り強く考え、図形の合同について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。
12	2 平行四辺形				
1	6章 確率 1 確率	1 同様に確からしいこと 2 いろいろな確率	・多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数を基にして得られる確率の必要性和意味を理解している。 ・簡単な場合についての確率を求めることができる。	・同様に確からしいことに着目し、場合の数を基にして得られる確率の求め方を考察し表現することができる。 ・確率を用いて不確実な事象を捉え考察し表現することができる。	・場合の数を基にして得られる確率のよさを実感して粘り強く考え、不確実な事象の起こりやすさについて学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、確率を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。
2	2 確率による説明				
3	7章 データの比較 1 四分位範囲と箱ひげ図	1 四分位範囲と箱ひげ図 2 三平方の定理の逆	・四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を理解している。 ・コンピューターなどの情報手段を用いるなどしてデータを整理し箱ひげ図で表すことができる。	・四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断することができる。	・四分位範囲や箱ひげ図のよさを実感して粘り強く考え、データの分布について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、四分位範囲や箱ひげ図を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。
	課題学習 1～2年の復習など				